

1 国語に関する調査

【特長】

- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることがよくできている。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、情報を適切に使うことがよくできている。様々な教科の中で、調べたことを新聞などにまとめたり発表したりする活動を多く取り入れてきた成果と考えられる。

【課題】

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。繰り返し漢字練習をするだけでなく、漢字や熟語を用いた例文を考える活動も取り入れることで、文章の中で正しく使えるようにしていきたい。
- 物語を読んで、人物像や全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに課題がある。文章を既存の知識や自分の経験と結び付けて想像したり考えをまとめたりする活動を積み重ねていきたい。

2 算数に関する調査

【特長】

- 数量の関係を、□を用いた式に表すことがよくできている。□に当てはまる数字を1から順に当てはめて求める方法やおおよその見当を付けて求める方法、四則計算の相互の関係を基に逆算で求める方法など、様々な求め方で課題を解決する経験を重ねてきた成果であると考えられる。
- 直方体の見取図について理解し、かくことがよくできている。

【課題】

- 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。数直線などの図を用い、速さや1あたりの大きさを求める意味と方法を理解させる必要がある。また、答えを導き出す方法を図や言葉で説明できるように指導していきたい。
- 球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことに課題がある。既習事項を想起させたり具体物を提示したりすることで、理解を深めていく。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と感じている児童の割合が高い。教師が児童に声をかけたり、学級通信などで紹介したりして児童一人一人のよさや頑張りについて、意識的に伝えていることのあらわれであると考えます。
- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」と感じている児童が多い。今後も友達の話聞く視点を丁寧に指導し、充実した話し合いができるようにしたい。

【課題】

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」と捉えていない児童が少数いる。全ての教育活動を通していじめ防止の意識を高めるとともに、お互いの違いを認め合える集団づくりを心掛けていく。
- 平日に4時間以上ゲームをしている児童が少数いる。スマートフォンやゲームの使用時間、使用に当たってのルールについて家庭で話し合う機会をもつように投げかけていく必要がある。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- どの教科でも学習の最初に目標を提示し、最後に振り返りを行うことで、その時間に身に付けるべき学習内容を明確にする。
- 自分の考えを書くことに課題がある。日々の授業の中で自分の考えをもてるようにするだけでなく、その考えを的確に表現できるように指導していく。
- 児童一人一人がお互いのよさを認め合うと同時に、個々のよさを発揮できる機会を大事にしていく。
- 担任だけでなく学校全体で児童の心身や学習の状況を把握し、全ての児童が安心して学校生活を送り、楽しく学習ができるよう全教職員で支援していく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- お子さんがスマートフォンやタブレットをどのように使用し、誰と連絡を取り合っているのかをご家庭でも把握していただきますようお願いいたします。併せて、安全な使い方について日常会話の中でも話題にしてください。
- お子さん一人一人が自己肯定感を高め、楽しく安心して生活が送れるようにご家庭でもお子さんの頑張りやよさを認め、温かい声かけをお願いいたします。
- 本校の重点目標に「あいさつは心のあくしゅ」を掲げています。挨拶は人と人をつなぎます。学校、家庭、地域で挨拶の輪を広げ、豊かな心を育てていきましょう。